

in
小淵沢

「信仰は 投資神託」

ルカ書19章11～28章

ミナのととえ

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 託された恵み 19:11~14

II. 問われる結果 19:15~28

III. まとめと適用

主に投資しよう

主の報いに与るために



聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある

天地創造

人類の墮罪

キリストの
十字架の
死と復活



世界の回復
(完全な神の国)

キリストの再臨

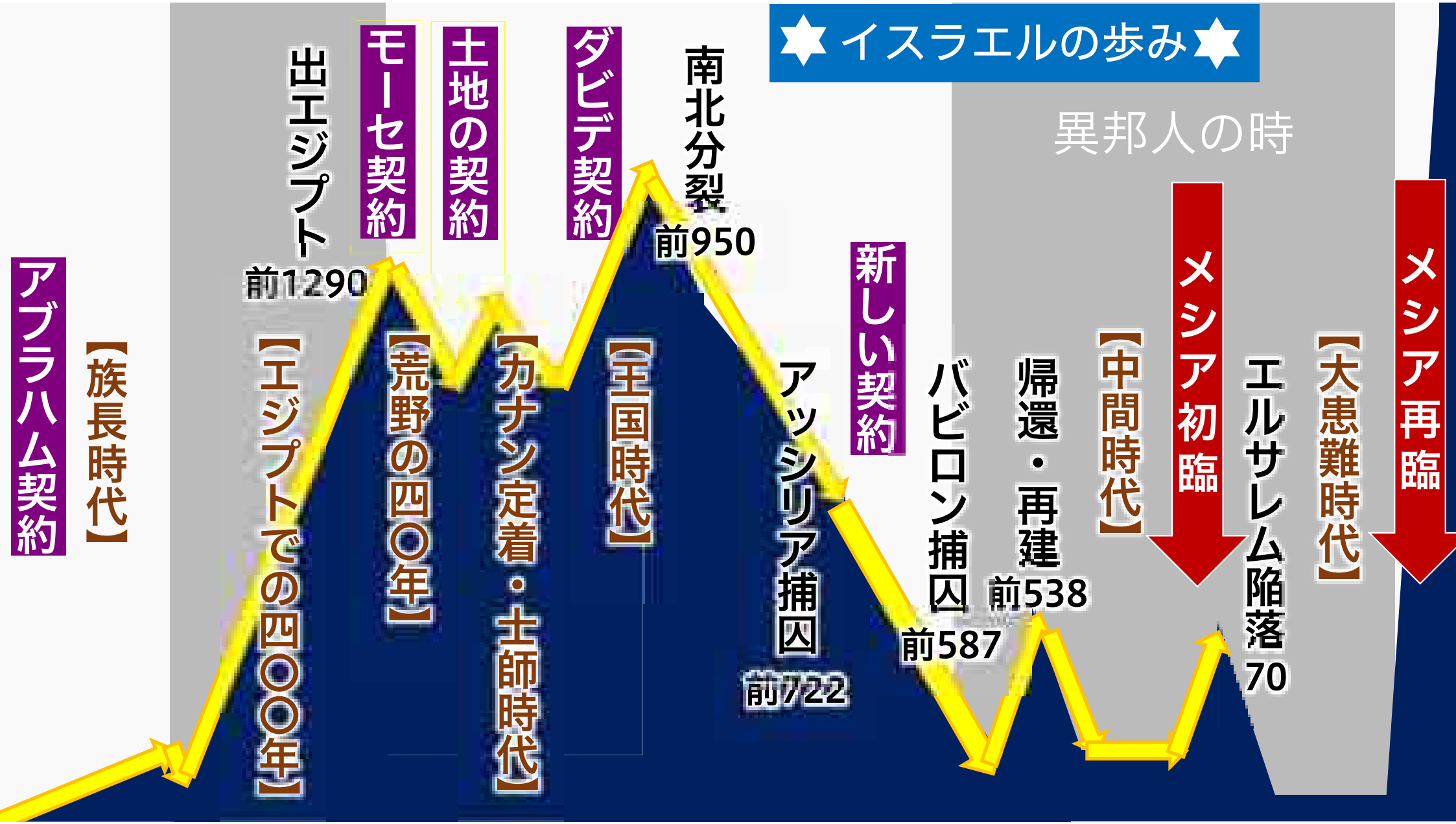
これから起きること

今の時代(教会時代)

ゴールは、世界の回復、完全な永遠の「神の国」

★ イスラエルの歩み ★

異邦人の時



メシアの生涯

宣教 → 拒絶 → 弟子訓練 → 十字架へ

イスラエル
(指導者)



バプテスマ

荒野の誘惑

弟子の召命

ガリラヤ伝道開始

メシア的奇跡

安息日(律法解釈)論争

ベルゼブル論争

たとえ話

五千人の食事

ペトロの信仰告白

山上の変容

ザアカイの回心

ミナのたとえ

エルサレム入城

最後の晩餐



エルサレム
陥落
70年

イエスの足どり

- イスラエルに**公的に拒絶**され、ユダヤ議会、領主ヘロデから命を狙われる中、異邦人の地を巡り、ペテロの**信仰告白**を引き出され、ヘルモン山で**栄光**の姿を現された。
- イスラエル最大の祭り、**過越の祭り**のため、主イエスは、都エルサレムに上っていく。その途上のエリコで、徴税人ザアカイが回心。
- メシアとしての活動(公生涯)の最後。十字架を目前とした中、語られたのが、“**ミナのととえ**”



この世代の裁きが確定した中の希望とは？

■ イスラエルが公的にイエスを拒絶した時、この世代のイスラエルへの裁きが確定した。

→40年後のローマによるエルサレム陥落

■ しかし、今なお、一人一人のユダヤ人には、主イエスを信じて救われる道が残されている。悔い改めて救われたザアカイに、主は言われた。

「今日、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。人の子は、失われた者を捜して救うために来たのです。」





I. 託された恵み

ルカ書19章11～14節

現在のエリコ

【イエスのたとえ】 ルカ19:11

人々がこれらのことばに耳を傾けていたとき、イエスは続けて一つのたとえ*を話された。イエスがエルサレムの近く*に来ていて、人々が**神の国**がすぐに現れる*と思っていたからである。

*イスラエルの拒絶以降のイエスの教え方。

…たとえの意味は、弟子たちだけに話された。

*エリコ→エルサレム 30km。一日の距離。

*“メシアが都に上れば神の国が実現する”

…誤解。神の国の出現は遠い将来のことに!!

➔イスラエルがメシアを拒絶したため



【王に即位する人】 ルカ19:12～13

イエスはこう言われた。「ある身分の高い人が遠い国に行った*。王位を授かって戻って来るためであった。

*ローマに支配された当時の状況を反映。

…ヘロデ大王は、ローマに上り、王に即位。

■ ここでは、“身分の高い人 = メシア”

昇天されたメシアは、王として戻られる。

■ このたとえが教えるのは、

「教会時代の信者の心がまえ・信仰生活」



【王の命令】 ルカ19:13

彼はしもべを十人呼んで、彼らに十三ナ*を与え、『私が帰って来る*まで、これで商売をしなさい*』と言った。

*100デナリオン…100日分の労働者の賃金。

*メシアの再臨。裁き主、王としての帰還。

*プラグマテオマイ …新約ではここだけ。

…「事業をしなさい(リビングバイブル)」

■しもべに託されたのは、**主人の資産運用**。

資産家のごく少数の当時、難しくはない。



【王を憎む人々】 ルカ19:14

一方、その国の人々*は彼を憎んでいたため、彼の後に使者を送り、『この人が私たちの王になるのを、私たちは望んでいません』と伝えた。

*メシアを拒絶したイスラエルの指導者たち

【たとえの意味】

- 王になる身分の高い人 → メシア
- 遠い国 → 天の国
- しもべ → クリスチャン
- 憎む人びと → イスラエルの指導者たち





II. 問われる結果

ルカ書19章12～28節

ラキシユのテル

【王の帰還】 ルカ19:15

さて、彼は王位を授かって帰って来る*と、金を与えておいたしもべたちを呼び出すように命じた。彼らがどんな商売をしたかを知ろうと思ったのである。

*メシアは、王として再臨される。

■ 世の終わりの裁き・大患難時代は、イスラエルに対する最終的な裁き。

➔ 主を信じる真のイスラエルが残され、民族的回心に至る。



【一人目のしもべ】 ルカ19:16～17

最初のしもべが進み出て言った。『ご主人様、あなた様の一ミナで十三ミナ*をもうけました。』

主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。おまえはほんの小さなことにも忠実だったから、十の町*を支配する者になりなさい。』

*100万を1000万に!!

*当時のガリラヤ、ヨルダン川周辺には、デカポリス(十の町)と呼ばれるローマ風の町が。

王が与えたのは、はるかに大きな報酬!!



デカポリスの一つ
ベテ・シャン



【二人目のしもべ】 ルカ19:18~19

二番目のしもべが来て言った。『ご主人様、あなた様の一ミナで五ミナをもうけました。』

主人は彼にも言った。『おまえも五つの町を治めなさい。』

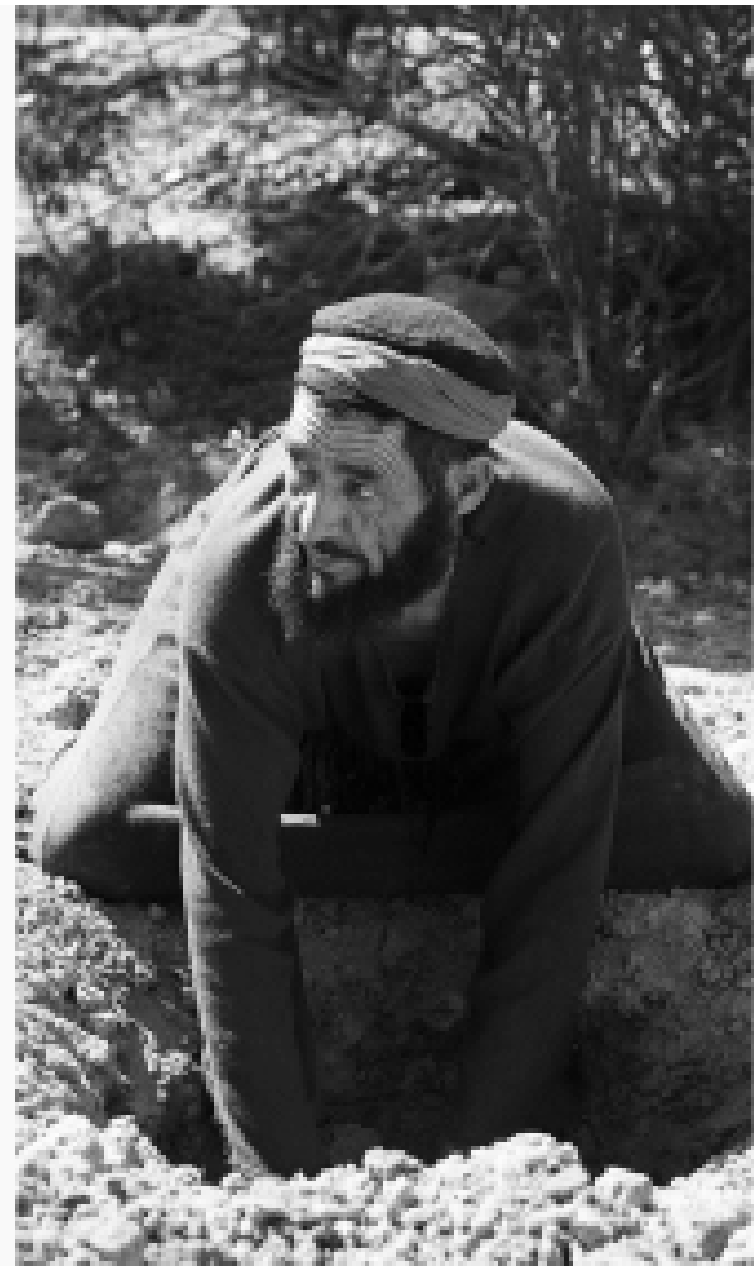
【別のしもべ】 ルカ19:20～21

また別のしもべが来て言った。『ご主人様、ご覧ください。あなた様の一ミナがございます。私は布に包んで、しまっておきました。

あなた様は預けなかったものを取り立て、蒔かなかったものを刈り取られる厳しい方*ですから、怖かったのです。』

*誰のイメージ？

- 恐ろしく、厳しい神の姿は、
不信仰に陥った自分自身の反映



【王の裁き】 ルカ19:22

主人はそのしもべに言った。『悪いしもべだ。私は**おまえのことば**によって、おまえをさばこう*。おまえは、私が厳しい人間で、預けなかったものを取り立て、蒔かなかったものを刈り取ると、**分かっていた**というのか*。』

*“**お前の口**からお前を裁く。悪いしもべよ”

*“お前は知っていたのか。…だと。”

■“神は厳しく非情” →しもべの勝手な印象。
神を信頼し、委ねて歩む者だけが、
主の恵みを真実に味わい知ることができる。



【示された方法】 ルカ19:23

『それなら、どうして私の金を銀行*に預けておかなかったのか。そうしておけば、私が帰って来たとき、それを利息と一緒に受け取れたのに。』

*当時あったのは、高利貸し。

■資産家が少数の当時、金貸しは安定した商売。財産がある者ほど、増やすのも容易。

(※当時の金利は、通常、年率4~12%、高利だと、24~48%にも達した。)

➔資産運用を他者に委ねる道もあった。

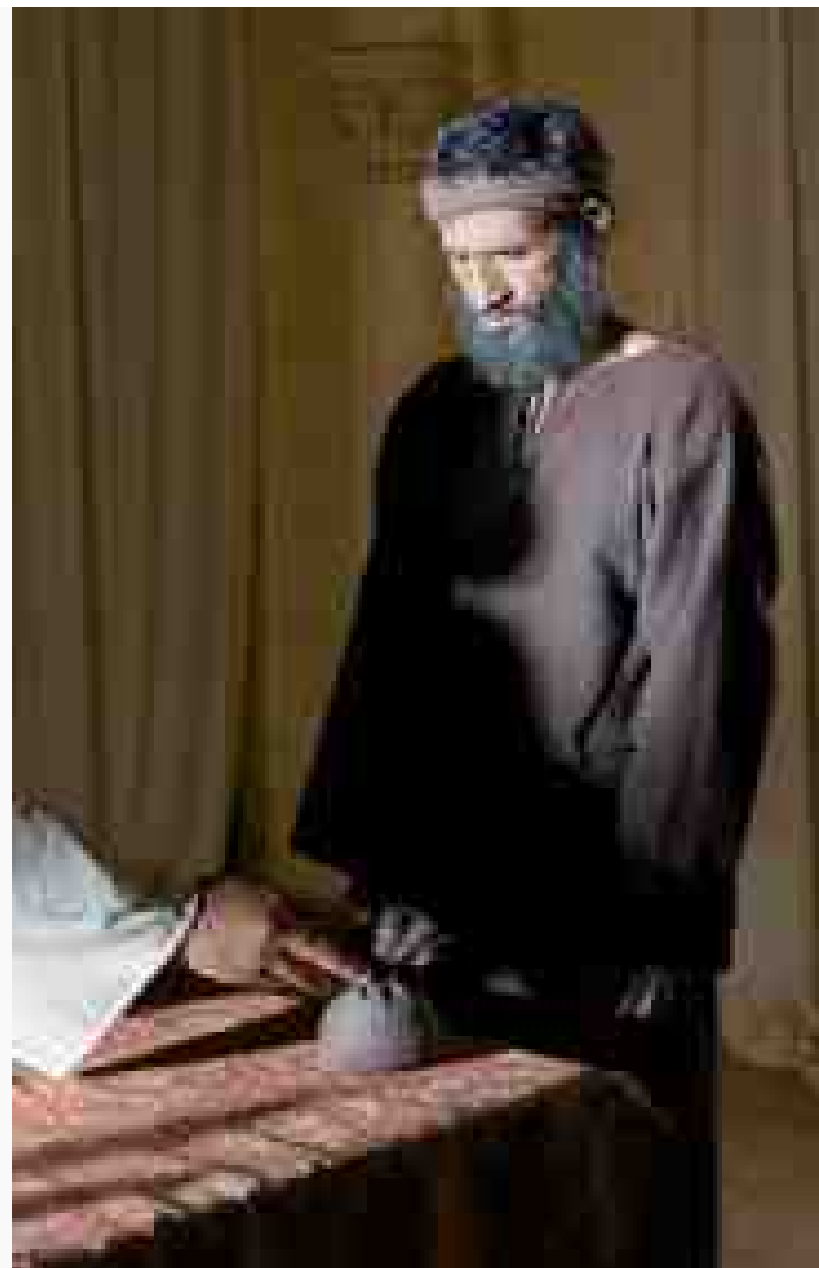
主の前で言い訳の余地は一切ない!!



【王の采配】 ルカ19:24～25

そして、そばに立っていた者たちに言った。
『その一ミナをこの者から取り上げて、十
ミナ持っている者に与えなさい。』

すると彼らは、『ご主人様、あの人はずで
に十ミナ持っています』と言った。



【失われる報酬】 ルカ19:26

彼は言った。『おまえたちに言うが、だれでも持っている者はさらに与えられ、持っていない者からは、持っている物までも取り上げられるのだ。』

■ 救われた者に与えられる御国の報酬の原則

神の目に適う奉仕 → 働きに応じた報酬

適わない奉仕 → 報酬は、なし。

- 報酬は失われることがある。それでも、一度信じて与えられた救いは取り去られない。



【王の裁き】 ルカ19:27~28

『またさらに、私が王になるのを望まなかったあの敵ども*は、ここに連れて来て、私の目の前で打ち殺せ。』』

これらのことを話してから、イエスはさらに進んで、エルサレムへと上って行かれた。

*メシアを拒んだイスラエルの指導者たち。

➔現在の適用としては、イエスを信じない、不信仰なユダヤ人と異邦人。

再臨の王イエスは、不信仰者を裁く!!





Ⅲ. まとめと適用

主に投資しよう 主の報いに与るために

【ミナのたとえのまとめ】

■ 王として帰還する主人 → 再臨する王なるキリスト

■ しもべたち → 福音を信じたクリスチャン

▶▶ 地上での働きに応じて、御国の報償が決まる。

(キリストの御座の裁き・携挙後)

① 10ミナもうけたしもべ → 超忠実なクリスチャン

② 5ミナもうけたしもべ → 忠実なクリスチャン

③ もうけなかったしもべ → 不誠実なクリスチャン

■ 王を拒んだ民 → メシアを信じなかった人々

▶▶ キリストの白い御座の裁き後、永遠の滅びに!!



ミナのとたとえと終末

【パラダイス】



キリスト御座の裁き



キリストの再臨



【千年王国】

聖霊降臨



教会の携挙



【教会時代】



【大患難時代】



【シェオール(陰府)】

キリストの御座の裁き・報酬の原則

コリント人への手紙3章11～15節

だれも、すでに据えられている**土台**以外の物を据えることはできないからです。その**土台**とは**イエス・キリスト**です。だれかがこの**土台**の上に、金、銀、宝石、木、草、藁で家を建てると、それぞれの働きは明らかになります。「その日」がそれを明るみに出すのです。その日は火とともに現れ、この火が、それぞれの働きがどのようなものかを試すからです。だれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。だれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、その人自身は火の中をくぐるようにして助かります。

キリストの御座の裁き・報酬の原則

- 土台はイエス・キリスト → 福音を信じて救われているのが前提
- 金、銀、宝石(主の御心に適った働き) → 神の国に積まれ、報酬に。
木、草、藁(御心に適わない) → 残らない。無報酬。
- 神の国での報酬とは？
→ 「町を治めさせよう」…千年王国で統治を任される範囲。権限。
- 「火の中をくぐるように」神の国に入る → 神の国でホームレス?!

救いは等しい。神の国での報酬には差がある。

語られていない部分を考える

■ 10人のしもべに、1ミナずつ

- ①一人目は、1ミナを10ミナに。
- ②二人目は、1ミナを5ミナに。
- ③別のしもべは、1ミナのまま…。

■ 他の7人は？

→ 以下③に同じ 1ミナのまま



3種類の信者

「種を蒔かれた土地のたとえ」 マタイ13章他

■ 種(御言葉)を受け入れた地… 3種類の信者

- ① 岩地 …信じておしまい。
未信者との見分けもつかない?!
- ② 茨の地 …世の煩い、富の誘惑で、成長が止まり。実を結ばない。
- ③ 良い地 …弟子の使命に身を投じ、豊かな実を結ぶ。福音を伝える者に!!

■ 人数の割合は？

① 岩地 > ② 茨の地 > ③ 良い地



ささげるか。ささげないのか。

福音を信じたすべての者に、主の恵みが託されている。
きよめられ、新生し、永遠の命が与えられ、聖霊が内住されている。

1ミナとは、すべての信者に共通の恵み。
福音を信じたすべての者にあり、誰もがささげられるものだ。

クリスチャンの最大の特権は、自分自身を主にささげられること。
主はわたしを、傷もしみもない者として喜んで受け取ってくださる。

私は、完全に、永遠に主の所有とされた。
主の恵みによる今を、この身を、**ささげないのか。ささげるのか。**

選択は二つに一つ



実とは何か？

- 預言者たちの多くは、迫害を受け、殺された者も少なくない。使徒たちは、何千人もの救いに立ち会うこともあったけれど、さしたる成果もなく、一つの町を去ることも度々だった。
- 苦難の中でも、聖徒たちの道は開かれていった。主にささげて歩めば、主の働きのための必要は必ず満たされる。
- 神が実とされることと、世の価値観は、まったく異なる。真実の宝は、世ではなく、**天に積まれるもの**だと覚えよう。

★ 信仰とは投資神託 ★

- **信仰とは、投資。**主に与えられた恵みを、神に託して投資すること。
- **信仰の投資** → 主の働きのために、労力、資金、時間をささげる。
例) 鹿追のこと。小淵沢のこと。昨日のイッピーのこと。
- **なすべきことは、内住される聖霊が教えてくださっている。**
あなたが惜しむものを手放そう。躊躇のあるところに踏み出そう。
→ 平安は、決断の結果。信仰の投資に対する報い。
- **あなたの集う群れが、あなたの信仰を保証してくれるわけではない。**
私たちが集うのは、ここから再び、主に**派遣**されるため。
「行って、すべての人を私の弟子としなさい」と主は命じられた。

主の前に残るのは、
あなたが主にどう応え、
どれだけ主に委ねて歩んだか。それだけだ。

天にこそ、宝を積もう。
主に完全にあがなわれ、永遠に主の所有とされた、
私自身を、主にささげよう。

このちっぽけな自分を主にささげるなら、
はかりしれない恵みをもって、主が返してくださる。
「よくやった。忠実なしもべよ」と。

「^{てん}天の^{とう}お父さま。わたしは、あなたに^{そむ}背き、^{つみ}罪を^{かさ}重ねてきました。
^{ひび}日々^{おか}犯してしまう^{つみ}罪をも^{こくはく}告白します。この^{つみ}罪をゆるしてください。

わたしは、^{かみ}神の^こみ子イエス・キリストが、
^{つみ}あがな^{じゅうじか}し

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

^{はか}ほうむ

②墓に葬られ、

^みつかめ ^ふつかつ

③三日目に復活した^{しん}こと、を信じます。

^{わたし}つみ ^{かんぜん}わたし ^{えいえん}しゅ ^{しよゆう}

私の罪は、完全にゆるされ、私は永遠に、主の所有とされました。

^{しゅ}主のものとされたこの^み身を、^{しゅ}主のためにおささげします。

よくやった。忠実なしもべよ。と、あなたの^{むく}報いにあずかりたいです。

^{あた}ら ^う ^か ^{いのち} ^{しゅ} ^{あゆ}
新しく生まれ変わったこの命を、主のために歩ませてください。

^{しゅ} ^な ^{いの}
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」